

委託利用申込書

液体クロマトグラフ高分解能構造解析質量分析装置 (ESI-MS, APCI-MS)

下記のとおり分析願います。なお、分析結果の取扱いについては、オープンファシリティ推進支援室登録機器共同利用等実施要項を遵守します。

記

申 込 番 号 (事務局記入欄)	
---------------------	--

※ 下記太枠内のみご記入ください

利用責任者 (支払責任者)	所 属 機 関 名	
	組織名 (職名)	()
	氏 名	
	電話番号	
	メールアドレス	
利 用 者 (上記利用責任者と異なる場合のみ記入)	所 属 機 関 名	
	組織名 (職名/年次)	()
	氏 名	
	電話番号	
	メールアドレス	
目的・概要		

申込総検体数	検体
--------	----

利用負担金単価	WEB をご確認ください	対 応 検 体 数	検 体
		分 析 時 間	時 間

分 析 結 果 受 領	令和 年 月 日	受 領 者 署 名	
-------------	----------	-----------	--

- <申込上の注意>
- 1. 電話は研究室等の番号（大学の内線電話番号）を記入すること。
 - 2. 分析試料は 1 回の測定に付き溶液の場合 5mL (0.1~10ug/mL)、固体の場合 1mg 用意し、試料には検体番号（5 桁の数字）と氏名を記入すること。
 - 3. 別紙の『検体一覧』へ必要事項を記入し、試料と合わせて提出すること。
 - 4. 固体試料は粉末にして提出すること。また、乾燥は特に注意して行い完全に乾燥してから提出すること。特に指定のないかぎり室温保存します。
 - 5. 含有する元素名は分析装置の保守上、全て記入すること。
 - 6. 記入箇所に不明な点がある場合は、受け付けないことがあります。
 - 7. 分析試料の構造・分析値などについての機密保持は厳守します。

オープンファシリティー外部利用者免責同意書

筑波大学研究基盤総合センター副センター長（分析部門） 殿

私は、筑波大学研究基盤総合センター分析部門の所有する登録機器の利用に対して、以下の免責事項に同意します。なお、測定又は委託試料についても分析部門担当者の安全を守るために持込試料の性質について情報提供します。

＜オープンファシリティー利用時の免責＞

オープンファシリティ推進支援室登録機器共同利用等実施要項（令和４年６月２４日オープンファシリティ推進機構長決定）（抄）

(免責)

第19条 第9条により外部利用者が登録機器を利用した場合に、本学はその得られたデータ等を保証しない。第10条による委託利用の場合も同様とする。

2 共同利用等の利用により外部利用者に発生した損害又は損失については、本学はいかなる責任を負わず、損害賠償義務は一切ないものとする。

☐ 第19条に同意します。

＜測定又は委託試料について＞

- ☐ 放射性物質、ダイオキシン類、アスベスト等の有害物質ではありません。
- ☐ 爆発性ではありません。
- ☐ 悪臭を発生しません。
- ☐ 毒性はありません。
- ☐ 揮発性ではありません。
- ☐ 消防法（昭和23年法律第186号）で定義される危険物第1類から第6類までに含まれません。
- ☐ 試料としての検体に病原微生物等は含まれません。

注意すべき特記事項

令和 年 月

目 [所属機関]

[利用者氏名]

署名又は記名捺印

〔分析部門担当者氏名〕

署名又は記名捺印